

2021 年度
早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム企業若手人材 交流・勉強会
【実施報告】

1. 会 場：オンライン（Zoom 利用）

2. 日 時：2021 年 9 月 8 日（水）15：00～18：30
2021 年 9 月 16 日（木）15：00～18：30
2021 年 9 月 22 日（水）15：00～18：00 ／全 3 回

3. 概 要：

【第 1 回】講師：里見 多一（日本パーカライジング株式会社 代表取締役会長）

演題：『R&D で大切にしていること』

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

要旨：研究開発で大切にしていることについて、里見会長よりご講演をいただいた。

講演後、若手参加者は、「日本パーカライジング社の来年度から 5 か年の中期計画」というテーマのもとにディスカッションを行った。社内研修への投資計画や、新組織の設置計画等、具体的な提案が行われた。

【第 2 回】講師：朝日 透（早稲田大学理工学術院 教授）

演題：『産学連携を担うアントレプレナー』

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

要旨：産学連携を担うアントレプレナーについて、朝日先生よりご講演をいただいた。

若手参加者は講演を踏まえ、ワークショップの企画を行った。

「Covid-XX ～XX の到来に打ち勝てるのか～」、「パラリンピックから考えるスポーツビジネス」といったテーマが提案され、開催趣旨、登壇者、タイムスケジュールなども含めた具体的な企画案が発表された。

【第 3 回】講師：原山 優子（理化学研究所 理事、前総合科技イノベーション会議 常勤議員）

演題：『マイクロ・ナノ・システム技術を歴史から紐とく』

モデレーター：橋本 正洋（東京工業大学 教授）

要旨：半導体業界についての歴史と今後の政策について、原山先生よりご講演をいただいた。

講演後には、参加者全員と原山先生で質疑応答を行った。意見交換会では、講演に関する内容に限らず「教育への考え方」や、将来の「人と IT」の付き合い方、など様々な質問に対してもご回答をいただいた。

4. 実施内容： 15：00～16：05 講演
16：05～16：10 休憩
16：10～17：35 ディスカッション、発表、講評
17：35～18：30 交流会

5. 参加者数： 計 26 名

若手参加者： 5 社 8 名（おおむね 35 歳以下）

オブザーバー： 2 名

役員・研究戦略監： 11 名

事務局： 5 名

6. 報告事項：

若手企業人に対し勉強と幅広い人脈作りの場を提供し、社会・技術動向や企業における技術開発・事業立上げのヒントを学ぶ機会となることを目的とした交流・勉強会を今年度も開催いたしました。昨年度に続きオンライン開催となりましたが、モデレーターの橋本先生に全体を取りまとめていただきながら、スムーズに進行することができました。

若手参加者からは、「普段関わることのない他企業の方々と交流できる貴重な機会であった」との声が多く聞かれました。また、「自身の専攻・業務とは全く異なる分野についてエキスパートの先生方からご講演頂けたことで興味の幅が広がった」、「普段考えない内容を深く考えるきっかけになった」、などのご意見もいただき、満足度の高い企画となりました。

なお、今年度はナノテクノロジーフォーラム会員の企業役員の方にもオブザーバーとしてご参加いただき、「若手への説明の仕方を学ぶことが出来る一方で、御講演内容のアジェンダに関する自分自身の理解が深まりました。オブザーバー参加を許して頂き、感謝しています」とのご意見をいただくことができました。

本イベントの開催にあたり、講師を務めていただきました、里見多一会長、朝日透先生、原山優子先生、3回にわたりモデレーターを引き受けて下さいました橋本正洋先生、またご参加いただきました皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

2022年度は、より多くの参加者をお迎えし、対面形式で開催ができることを期待し準備を進めてまいります。

【第1回】



【第2回】



【第3回】

